

有田みかん海道プロジェクト 取組報告書



2019年4月14日

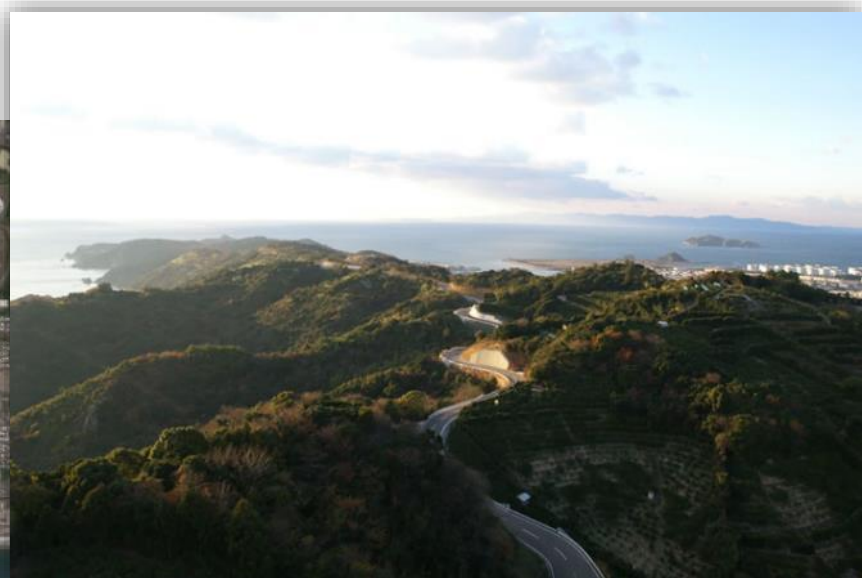
報告者：経営企画課 南村

有田みかん海道とは

有田みかん海道とは

■全長 約5.6km

■高低差 約150m



有田みかん海道とは



湯浅湾や紀伊水道を望む「みかんと海の道」

有田みかん海道とは

主にドライブやウォーキングスポットとして広報
マラソン大会やウォーキングイベントのコースに活用され、
「みかん海道マラソン」では例年1,000人近くの集客



有田みかん海道とは

ボランティアも含め努力されているが草木が眺望を妨げる場所も
道路脇を覗き込むと、不法投棄も多い



状況の変化と取組の方向性

状況の変化

「河南地区避難拠点地」の完成(2016年9月)



これに伴って水道が整備された

状況の変化

飲食店の進出とそれに伴う来訪者の増加



車だからこそ思い立ったらすぐ行ける！ 絶景と立ち寄り満載の全20ルート。

景色のいいドライブ [関西版]

京阪神から
だいたい
90分!

定価：本体 800円+税 IMAGA BOOK

能勢 奥河内 泉州 南山城 美山 京丹波 赤穂 三田 淡路島 朝来 雑賀崎 生石高原 有田 湖岸道路 高島 信楽 曾爾 柳生 生駒 東吉野

有田みかん海道の
海景が気持ちいい!

| COLUMN |
名阪国道
ドライブイン再考

A photograph of a white vintage car parked on a road. The car is facing right. In the background, there is a scenic view of a lake and mountains under a blue sky with some clouds. The car is parked on a paved road with a metal guardrail.

取組の方向性

方向性1: 新たな魅力の発掘とPR

来訪者の増加にあわせ、これまで取り上げられてこなかった魅力を掘り下げ、外部にPRすることで、知名度の向上と更なる来訪者の増加につなげる。

方向性2: 魅力を維持するためのルールづくりと意識向上

開発が進む中で、肝心の魅力を損なうことがあってはならない。土地利用を中心として、関係者でみかん海道のあるべき姿を共有するとともに、魅力ある環境を守っていくという意識を高める。

3年間の取組

3年間の取組

天体観測スポットとしての可能性



市街地のすぐ近くで、満天の星空が楽しめる

3年間の取組

天体観測イベントの実施

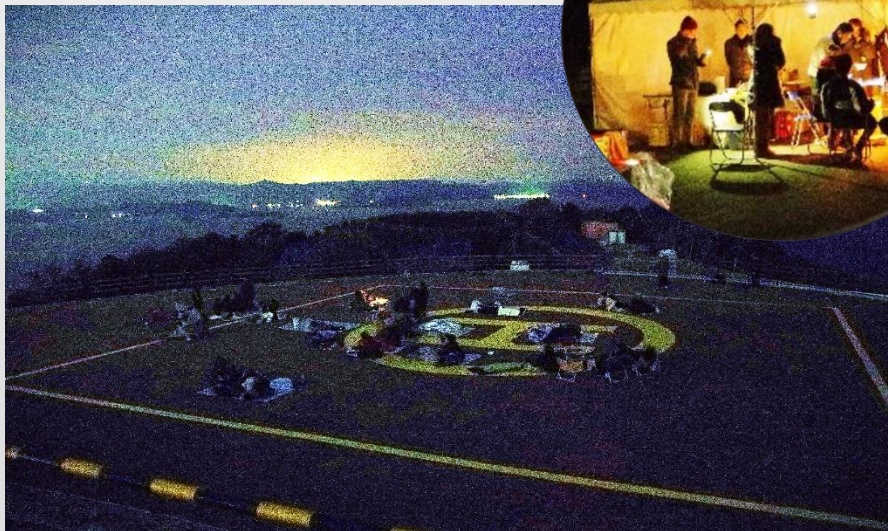
2017年1月3日実施

三大流星群のひとつ「しぶんぎ座流星群」と長寿の星「カノープス」の観測

天体観測グループ「カノープス」の

協力により開催

来場者数 約100名



HAPPY NEW STAR

カノープス & しぶんぎ座流星群 観測イベント

新年1番に輝く星に、願いを届けてみませんか？
有田の「天空の地」が貴方をお待ちしています！

場所 有田みかん海道 有田市宮崎町1052周辺
(河内地区遊園地敷地)

日時 平成29年1月3日(火)
21:00 ~ 24:00
(20:30開場) 途中入退場可

入場無料 (事前申込あり)

カノープス
七福神の守護神と赤老人のモデルになった「南極老人」の星。限られた地域と条件でのみ見ることができ、見た人は長生きできると言われています。

しぶんぎ座流星群
毎年ある程度まとまった活動が期待される三大流星群のひとつ。年他に何一クを逃さる流星群で、2017年の観測期待は良好とされています。

★1 天体観測グループ「カノープス」による解説付
★2 あたたかい飲み物等もあります

事前申込 (定員100名、先着順) ※開場1ヶ月前に受付が締め切られるため、事前申込みがない場合は、当日入場を希望する方は、当日の受付にお越しください。当日は定員に達しない場合があります。

参加される方は、①氏名 ②住所 ③電話番号 ④メールアドレスをご記入の上「HAPPY NEW STAR事前申込」と明記し、郵送またはメールでお申込ください。

郵送先: 〒649-0392 和歌山県有田市長官舎50番地 有田市民会館市民登録課502号室 (和歌山県和歌山市1228-041) 和歌山県
Eメール: keikikakaku@city.ariaida.lg.jp ※申込期限 12/31(日) 18時

※当日中止の場合は、有田市の公式ホームページにてご発表いたします。(12/10日)

主催 有田市

協力 カノープス

ご注意
★当日はかなりの寒さが予想されます。防寒対策は十分にお願いたします。
★観測会場は芝生の広場です。防寒マットやレジャーシートのご用意をお勧めします。
★会場の駐車場は限られています。出来る限りお早めにお越しください。
★路上駐車、光や騒音など、他の方のご迷惑とならないよう、ご配慮をお願いします。

申込先・問合せ 〒649-0392 和歌山県有田市東馬場50番地 有田市民会館市民登録課まちづくり課
TEL: 0737-83-1111 keikikakaku@city.ariaida.lg.jp

※天体観測グループ「カノープス」主催・実施のイベントを開催する有田市の団体、市民や子どもたちと連携し、市民参加型イベントを開催しています。

3年間の取組

フォトコンテストの開催

多様な視点から魅力を発見
今後のPR用写真の発掘



3年間の取組

有田みかん海道PRフォトコンテスト

テーマ「有田みかん海道 夏の魅力」

募集期間:2017/6/2~9/13

一般部門、モバイル部門、ジュニア部門
の3部門で募集 → 応募総数:45件



第1回 有田みかん海道PRフォトコンテスト

テーマ
「有田みかん海道 夏の魅力」

- 募集期間 6/2~9/13
- 6~8月にみかん海道で撮影の写真
- 部門
 - 一般部門 (全年齢OK)
 - モバイル部門 (ケータイ限定)
 - ジュニア部門 (高校生以下)
- 入賞者は表彰状 記念品あり (10月発表)
- メール応募
- 問合せ 経営企画課 有田みかん海道
0237-43-1111 (内線 323)

主催 有田市
(有田市西海岸エリア五つ星プロジェクト)

有田みかん海道PRフォトコンテスト

3年間の取組



サイクリングルートとしての可能性

快適に走行できる環境
起伏に富んだステージ

3年間の取組

「サイクリング王国わかやま」に基づく環境整備



ブルーラインの設置



サイクルステーションの開設



バイクラック



和歌山県の作成するサイクリングルートの中で、有田市では、みかん海道を中心と考え、マップの作成等に際して重点的に要望。

3年間の取組

ARIDA CYCLE MEETING in みかん海道

2019年2月10日開催

- ・みかん海道の特性
(短い区間にサイクリングの魅力が凝縮)
- ・愛好家に限らない幅広い層の参加



みかん海道を実走する展示試乗会

15の有名ブランドが出展



ARIDA CYCLE MEETING
in みかん海道
2.10 2019 SUN 同日開催
有田みかん海道
マラソン

参加無料 | 申込不要

※試乗される方は、運転免許証等ご本人確認書類をご持参ください。

| ブース展示 | 9:00~
マツゲン有田球場駐車場

| 試 乗 | 12:00~17:00
マツゲン有田球場周辺 ▶ 有田みかん海道

手ぶらで参加できる体感試乗イベント!!
ここからはじめよう! サイクルライフ

アクセス |
・お車で移動の方
秋和自動車道 有田ICより約20分 有田ICより約20分 駐車場あり
・公共交通機関でお越しの方
JR肥前線 有田駅下車 有田駅から有田みかん海道まで約10分
・当日は大量の来場者が見込まれます。できる限り公共交通機関やシャトルバスを
ご利用ください。
シャトルバスの運行情報は、HPでご確認ください。

3年間の取組

来場者数: 約600名 試乗者数: 213名 うち182名がみかん海道を走破



3年間の取組

景観の保全

有田みかん海道の魅力は美しい景観あってこそ
土地利用のあり方について、話し合う機会を

3年間の取組

- ・現状の関係法令を整理し、沿道の土地所有者を調査
- ・自治会や土地所有者を招き、意見交換を実施

景観を損なうようなことはダメ

景観を守ることは当然だが
がんじがらめでは発展しない

沿道だけで人は呼べない
逢井にも注目

海が見える場所は強い
360度の景観は感動

不法投棄対策に
防犯カメラはどうか

狭隘区間解消できないか
人通り増えると危険

今後の展開

今後の展開

方向性1: 新たな魅力の発掘とPR

- ・これまで発掘してきた魅力を定着させていく
- ・魅力を集客へとつなげていく

方向性2: 魅力を維持するためのルールづくりと意識向上

- ・土地開発時に関係者の意見を反映できる仕組みをつくる
- ・官民で役割分担し、美しく保つための整備を進める

3年間を振り返って

3年間を振り返って

3年間を終えて私の手元にあるもの……



一眼レフ(約6万円)



ロードバイク
(約20万円)

3年間を振り返って

……それと、新しい世界、たくさんの人との関わり。
みかん海道と関わることがなければ、出会うことのなかったもの。



有田みかん海道でたくさんの魅力に出会ってください。
そして、その将来を想う方がいれば、一緒に頑張っていきましょう。



ご静聴ありがとうございました。